

## 地域連携推進機構

Organization for Promotion of Regional Collaboration

### 地域医療・保健支援部門

Community Medicine & Health Support Division

特命教授 小林 俊哉 Toshiya Kobayashi

#### ◆ 研究概要

地域医療・保健支援部門は、富山県下及び北陸地区を中心とした地域の医療機関に対する難病の分野及び先進技術等の指導・支援を担う地域医療部と、富山型健康プログラムや地域健康調査を基礎とした地域健康増進支援事業、地域産業界と連携した地域ストレス対策支援事業、地域の保健医療関係者を対象とした社会人リカレント教育等を担う保健支援部によって構成されている。地域の健康増進を対象とした地域連携活動のあり方、特にコ・メディカルの健康増進業務に従事する社会人リカレント教育のためのカリキュラム開発や教育機会創造のための研究に従事している。この他、科学技術政策の研究に現職就任以前から19年間従事している。

#### ◆ 原 著

- 1) 小林俊哉：文部科学省『科学技術動向』に見る石油化学技術の位置付け。次世代ポリオレフィン総合研究 vol. 4, 三恵社, ISBN978-4-88361-810-1, 28-35, 2010.

#### ◆ 学会報告

- 1) 小林俊哉, 緒方三郎：アウトリーチ活動実態の研究機関評価への利用可能性。第25回研究・技術計画学会年次学術大会。2010, 10, 9-10. 東京 亜細亜大学. (一般講演)
- 2) 小林俊哉：文部科学省『科学技術動向』に見る石油化学技術の位置付け。第5回次世代ポリオレフィン総合研究会, 2010, 8, 5-6, 東京 田町キャンパスイノベーションセンター. (一般講演)
- 3) 樽田泰宜, 小林俊哉：北陸地方におけるサイエンスカフェいしかわの実践。サイエンスアゴラ, 科学技術振興機構, 2010, 11, 20-21, 東京国際交流館. (ポスター発表)

#### ◆ その他

##### 〔研究ノート〕

- 1) 小林俊哉, 樽田泰宜：サイエンスカフェを核とした大学・地域社会間のアウトリーチ活動ー石川県能美市と北陸先端科学技術大学院大学の事例。『北陸地域研究』, 3(2) : 53-65, 北陸先端科学技術大学院大学 地域・イノベーション研究センター, 2010.
- 2) 樽田泰宜, 小林俊哉：地域の問題解決へのサイエンスコミュニケーション手法ー北陸先端科学技術大学院大学におけるサイエンスカフェの事例から。『北陸地域研究』, 3(2) : 66-77, 北陸先端科学技術大学院大学 地域・イノベーション研究センター, 2010.
- 3) 小林俊哉：モバイルリテラシー教育を核とした大学の社会貢献。『北陸地域研究』, 2(1) : 62-71, 北陸先端科学技術大学院大学 地域・イノベーション研究センター, 2010.

##### 〔論 説〕

- 1) 小林俊哉：アウトリーチ活動を研究者・研究機関評価の対象に加えるべき。『科学』『ウェブ広場』電子版, 岩波書店, 2010.
- 2) 小林俊哉, 亀田文哉：地域に広がるモバイルリテラシー教育。月刊『LASDEC』, 5 : 30-35, 地方自治情報センター, 2010.